

1 第22回参議院議員通常選挙

第22回参議院議員通常選挙は、平成22年（2010年）6月24日に公示され、7月11日に執行された。

今回の通常選挙は、平成21年の総選挙による政権交代後、初の本格的な国政選挙であった。

また、第21回の通常選挙と同じく、平成18年に成立した公職選挙法一部改正（群馬及び栃木選挙区の定数は各2減員、東京及び千葉選挙区の定数は各2増員の定数較差是正）に伴い、群馬及び栃木選挙区の改選数が1減、東京及び千葉選挙区の改選数が1増で行われた。

比例区と選挙区を合わせた改選数121に対し437人が立候補し、景気や雇用、年金など社会保障、消費税増税問題等有権者に注目された。

投票の結果、民主党は44議席にとどまり、前回、前々回の獲得議席を下回っ

た。自由民主党は51議席で、改選議席中の第1党となった。非改選と合わせた与党会派（民主党・新緑風会・国民新・日本）の議席は110で、過半数を割り込んだ。なお、7月15日、与党会派から6名が退会し、国民新党を結成した。

参議院選挙に初挑戦の新党では、みんなの党が10議席と躍進、新党改革、たちあがれ日本がそれぞれ1議席を獲得した。一方、公明党、日本共産党、社会民主党はいずれも改選議席を維持できなかった。

今回の投票率（全国平均）は、比例区、選挙区とも57.92%となり、前回通常選挙より、比例代表で0.71ポイント、選挙区で0.72ポイント下回った。期日前投票は約1,208万人で、過去最多となった。

各党の獲得議席数は以下のとおりである。

政党名	獲得議席	改選前議席	増減
自由民主党	51	38	+13
民主党	44	54	-10
みんなの党	10	0	+10
公明党	9	11	-2
日本共産党	3	4	-1
社会民主党	2	3	-1
新党改革	1	5	-4
たちあがれ日本	1	1	±0
国民新党	0	3	-3
無所属	0	1	-1
欠員	—	1	-1
改選数計	121	121	

※改選前議席数は、第174回国国会会期終了日現在の政党所属議員数（議長は離脱前の所属政党で計算）であり、参議院における会派所属議員数とは一致しない。